

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き（平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課）」の自己評価シートをもとに作成

第8期介護保険事業計画に記載の内容				R3年度(年度末実績)		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
②	認定調査のより一層の平準化	全ての認定調査票の書面チェックを実施し、全国の保険者と比較した分析や研修等を通じて要介護認定の平準化を進める	認定調査票の書面点検率 (R3) (R4) (R5) 点検率(%) 100 100 100	認定調査数 2,076件	認定調査票の書面点検率 100% ◎	書面点検率は100%であるが、より一層、平準化を図るため、認定調査員研修会を年2回開催している。コロナ禍のため1回のみで開催であった。
②	市内の居宅介護事業所数のケアマネージャーの資質向上と適正な介護サービスの提供を保障するため、ケアプランの点検を定期的実施する必要がある。	ケアプラン点検の実施	ケアプラン点検の点検事業所数 (R3) (R4) (R5) 点検事業所数(%) 100 100 100	主任介護支援専門員が、市内居宅介護支援事業所のケアプランが自立支援に資する適正なケアプランであるか介護支援専門員と共に検証確認しケアマネジメントの質向上を図る。	ケアプラン点検の事業所数 21件 点検率 100.0% ◎	継続して実施し、ケアプラン点検が有効に活用されるよう、必要に応じて介護支援専門員へのフォローを行う必要がある。